

平成 29 年度第 1 回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

■日 時 平成 29 年（2017 年）6 月 26 日（月）14:00～15:30

■会 場 横須賀市役所 1 号館 10 階第 2 委員会室

■出席者 横須賀市スポーツ推進審議会委員（敬称略 50 音順）
委員長：田中靖和 委員長職務代理者：鈴木満
磯部忠、加藤努、東海林義勝、醍醐一朗、滝川満弘
武雅兄、野地武司、安田政樹、山口昭生

欠席

伊藤隆義、工藤幸久、鈴木志保子

事務局（8 人）

文化スポーツ担当部長：野間俊行

スポーツ振興課長：植野不二夫

スポーツ振興課係長：柴崎正、蛭田茂穂

スポーツ振興課主査：石川勝人

スポーツ振興課担当者：平澤健太（記録者）

保健体育課長：鎌原徳宗

保健体育課係長：志村康浩

傍聴者 なし

■議事次第 開会

1 事務局あいさつ

2 議題

(1) 平成 29 年度横須賀市スポーツ推進審議会の予定について

(2) 平成 29 年度スポーツ関係事業進捗状況について

(3) 報告事項

3 意見交換

(1) 横須賀市スポーツ推進計画の策定について

(2) その他

■資 料 【配付資料】

1 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿

2 平成 29 年度横須賀市スポーツ推進審議会予定

- 3 平成 29 年度スポーツ関係事業進捗状況
- 4 報告事項

【参考資料】

- 1 スポーツ基本法（抜粋）
- 2 スポーツ推進審議会条例

【当日配付資料】

- 1 各部課等におけるスポーツに関連した施策、事業部局別一覧
- 2 スポーツ基本計画
- 3 神奈川県スポーツ推進計画
- 4 平成 29 年度 スポーツ学習・講習会～選手育成強化事業～

開会

事務局（主査）が、平成 29 年度第 1 回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

1 事務局あいさつ

□事務局（文化スポーツ担当部長）

皆様、こんにちは。文化スポーツ担当部長の野間でございます。本日は、ご多用の中、第 1 回スポーツ推進審議会にご出席いただき、ありがとうございます。任期の折り返し地点ということで、昨年度に引き続き、14 人の委員の皆様には、横須賀市のスポーツ振興についてご審議いただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

前年度、委員の皆様にご意見をいただきましたが、スポーツに関する事務の移管によって、政策推進部にスポーツ振興課を新設いたしました。本市に息づいてきたスポーツをさらに伸ばさせるとともに、スポーツ資源を生かしたまちづくりの推進を目指していきます。今年度は、各種施策を、軌道に乗せて充実させる一方、来年度以降に向けた新規計画の策定など、スポーツ振興課として新たな試みを行う大切な時期であると考えております。「豊かなスポーツライフの実現」に向けては、事務局としましても、できるだけ知恵を絞り、横須賀ならではの特色も含めた事業を展開してまいりたいと考えております。

また「生涯現役社会の実現」においても、スポーツは大きな役割を担っています。私どもといたしましても、市民の期待するスポーツ行政の実現、生涯にわたる健康で豊かな心と体の育み、を目指してまいりたいと考えています。

委員の皆様には、お知恵を出し合ってください、横須賀市のスポーツ推進の指針をお示しいただきますよう、よろしくお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

□事務局（主査）
（事務局の紹介）

□事務局（主査）

それでは、これより議事にうつらせていただきます。スポーツ推進審議会条例第3条によりまして、議長は、田中委員長をお願いいたします。

□委員長

それでは、議事に入る前に、本日の定足数について、事務局からお願いします。

□事務局（主査）

定足数についてご報告いたします。スポーツ推進審議会条例第4条に「審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない」とあります。本日は14名の委員のうち11名のご出席をいただいておりますので、会議は成立いたします。

□委員長

次に、傍聴者の確認ですが、本日の会議の傍聴を希望される方はいらっしゃるのでしょうか。

□事務局（主査）

本日の傍聴者はいらっしゃいません。

2 議題

(1) 平成29年度横須賀市スポーツ推進審議会の予定について

□委員長

それでは、会議次第に基づいて、進めたいと思います。事務局から説明をお願いします。

□事務局（主査）

資料2をご覧ください。

平成29年度の横須賀市スポーツ推進審議会の年間予定となっております。表に記載のとおり、今年度は4回の開催を予定しております。2回目以降の開催は、10月下旬、1月下旬、3月下旬を予定しております。実施回数を増やした理由についてご説明します。資料2の表の右側、「議題等」の欄では、本日の第1回から第4回までに渡って、「横須賀市スポーツ推進計画の策定について」と記載をしております。次第の3の中で説明しますが、当計画を今年度中に策定するにあたって、委員の皆様から、ご意見をより多くいただきたく、4回の実施として予算化をしました。また、事務局からの情報提供を増やしていくことや、各団体の代表、そしてスポーツに関する知識をお持ちの学識経験者、公募市民の方にお集まりいただいておりますので、各団体の進捗状況などを発言していただき、この場を通じて、密な連携を図っていければと考えております。開催の増加に関して、ご理解ご協力の程、よろしく申し上げます。説明は以上になります。

□委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(2) 平成 29 年度スポーツ関係事業進捗状況について

□委員長

事務局から説明をお願いします。

□事務局(主査)

資料 3 をご覧ください。

平成 29 年度のスポーツ関係事業進捗状況について記載しております。事業名に下線が引いてある事業は、教育委員会事務局学校教育部保健体育課の関連事業であり、下線がない事業は政策推進部スポーツ振興課の関連事業です。本日までで、4月15日の、第66回横須賀市中学校総合体育大会総合開会式から、昨日行われた、第7回ソフトバレーボール大会までの事業を開催しております。選手等参加者数は上から、2,443名、632名、667名、466名、195名となっております。夏から秋に向けて、二課、それぞれで主催事業を行いますので、是非ともご参加、及び貴重なご意見をよろしくお願いします。

説明は以上となります。

□委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(3) 報告事項

□委員長

事務局から説明をお願いします。

□事務局(社会体育係長)

一つ目は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の育成強化についてです。事業内容としましては、スポーツ愛好者の裾野を拡大し、体育・スポーツの・レクリエーションの振興を図るため、団体運営費などを助成します。

特に、横須賀から、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する選手を育成するため、横須賀市体育協会に対して、選手強化の事業費を助成します。

この補助金を受けて体育協会では、今年度、スポーツ選手育成強化事業のひとつの取組みとして、スポーツ学習・講習会を企画し、資料として配布した、平成 29 年度 スポーツ学習・講習会～選手育成強化事業～を作成しました。講習会の内容も非常に充実したものになっており、選手以外にも指導者や選手の保護者も参加できる講習会もごさいます。スポーツ関連団体にも送付させていただくので、積極的に受講していただきたいと思っています。

また、新たに国の強化選手などの指定を受けた、市内のトップアスリートへの支援を行いません。横須賀市スポーツ大会出場者奨励金交付要綱を改正し、年額5万円の全日本強化指定選手奨励金を新たに設けました。国の強化指定等を受けた、オリンピックまであと一步の選手に対して、本市から奨励金を支給することで、横須賀市出身の選手であることの意識の高揚を図り、オリンピックの出場に向けた活動の一助としてもらうことを目的としていますので、委員所属団体や傘下の種目団体等でも該当の選手がおりましたら、是非ともご活用ください。

□事務局（施設係長）

続きまして体育会館営繕工事についてです。営繕工事費としまして、総合体育会館メインアリーナ天井その他改修工事は、競技場の天井工事となります。こちらは、平成29年度から30年度にかけての継続事業となっております。工期は年明けの2月から12月までを予定しております。この間、利用者の皆様には、ご不便をおかけしますが、体育会館の安全性向上のための工事になりますので、ご理解をよろしくお願いします。

続きまして、北体育会館外壁改修その他工事、南体育会館下屋防水改修その他工事、北体育会館非常用発電設備改修工事、北体育会館建具改修工事についてです。北体育会館の3つの工事は一括して行います。外壁関係になりますので、基本的には、営業をしたまま工事を行う予定です。

業務委託料としまして、西体育会館外壁調査業務委託ですが、作業は先週行い、現在調査の結果待ちです。アスベスト調査業務委託は、メインアリーナの競技場の天井に関するもので、撤去する部分のアスベスト調査になります。

続きまして、体育会館次期指定管理選考の概要についてです。次期指定期間は平成30年4月1日から平成34年3月31日までの4年間を予定しております。現在、主なスケジュールの一つ目にあります、募集要項・仕様書及び申請書等の配布を行っているところでございます。このあと、ヒアリング及びプレゼンテーションを経て、11月を目途に選考の結果が出ることとなっております。最終的には12月を予定しております、市議会へ議案の提出を行い、議決により、次期指定管理者が決定します。説明は以上となります。

□委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

□委員

学習講習会についてご質問があります。選抜選手という対象者はどのような枠組みなのでしょうか。

□委員長

選抜選手は体育協会加盟、39の各団体からそれぞれ優秀な選手を選出していただきます。栄養学など、様々な講座に参加し、より一層オリンピックを意識して取り組んでいくことや技術を高めていくことを目的としています。トップアスリートでは、小学校6

年生から中学校1年生までを対象とし、ライフル、セーリング、新体操、レスリングと
いった、横須賀の中体連に存在しない4種目のみを対象とし選出しております。

□委員

私はアーチェリー競技の団体出身なのですが、アーチェリー場と隣接しているエアライフル場では、トップアスリートアカデミーの種目の一つであるため、平日も多くの子
どもが参加し、非常に活発です。今後、当アカデミーの種目数を拡大する可能性はある
のでしょうか。

□事務局（スポーツ振興課長）

拡大していく考えはありますが、協会によっては指導者の人手が足りないなどの事情
があります。アーチェリーも当初候補に挙がっていたのですが、同様に人手の点を考慮
し、現在の4種目で実施をしているという背景があります。

□委員長

アーチェリーも候補にありましたが、現在、県の選手の強化に従事しており、指導者
の人手が足りないとのことでした。

□委員

営繕工事の関係ですが、資料の中では、西体育会館に関する記載がありません。また
昨年度、南体育会館では天井が落下しましたが、そのような箇所の対応は行わないので
しょうか。

□事務局（施設係長）

天井の工事に関して、西体育会館、南体育会館、北体育会館につきましては、来年度
以降、順次計画し、改修を考えております。また、昨年度起きた、南体育会館の天井の
落下についてですが、正確には、天井板の表面の柔らかい部分が、雨漏りの影響で、水
を吸ったり、乾いたりを繰り返したことにより、接着材が弱くなり、表面の部分が落下
しました。対応としては、接着が弱くなっている部分の天井板をそぎ落としております。
見栄えは決してよくありませんが、安全面は確保しております。については来年度以降に
順次計画を進めてまいります。

3 意見交換

(1) 横須賀市スポーツ推進計画の策定について

□委員長

事務局から説明をお願いします。

□事務局（主査）

スポーツ推進計画についてご説明いたします。

横須賀市教育委員会が、横須賀市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成23年3月に「横須賀市教育振興基本計画（第1次計画）」を策定しました。この間、皆様もご承知のとおり、国ではスポーツ庁が設立され、複数の省庁にまたがるスポーツ関連の行政機構を一本化し、スポーツ行政を総合的に推進することとなりました。

2011（平成23）年8月に「スポーツ基本法」が施行され、翌年3月には今後の国のスポーツ政策の具体的な方向性を示すものとして、本日別途配布しております「スポーツ基本計画」が策定されました。

本市においては、平成24年3月に策定された、現行のスポーツ基本計画が、平成29年3月に「第2期計画」として策定されたこと、神奈川県においても、これも本日公布しておりますが、平成29年3月に、神奈川県スポーツ推進計画が策定されたことを受けて、平成29年4月に本市の機構改革が行われ、横須賀市教育振興基本計画における、スポーツ編（豊かなスポーツライフの実現）に相当する部分のうち、学校体育以外の部分が、政策推進部に移管されたことなどにより、スポーツ基本法第十条第1項に基づき、「スポーツ基本法」に謳われている、スポーツに関する施策を、総合的かつ計画的に推進し、市民にとっての心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成、活力ある社会の実現を目指して、スポーツ推進施策に関して、国、県及び関係スポーツ団体と連携を図りながら、総合的、計画的かつ行政組織の横断的な連携を図っていくことを目的にして、新たな計画として、横須賀市スポーツ推進計画（以下、「推進計画」という。）を策定することとなりました。

計画の期間としましては、横須賀市教育振興基本計画は11年間（平成23年から平成33年）を3期に分け、3年・4年・4年に区分しており、スポーツ推進計画も基本計画及び本市の主な実施事業を示す「横須賀市実施計画」と計画期間を合わせて、平成30年度から33年度の4年間を想定しています。

計画の対象範囲としましては、先ほども申し上げましたが、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）の趣旨にのっとり、スポーツに関する本市の施策について、競技スポーツのみならず、子どもから高齢者までスポーツに触れ合い、参加したり、観戦したり、応援したりすることや、障害者、初心者から上級者まで、健康増進のために行われるレクリエーション活動を含めた生涯スポーツについて、全ての部局間を横断的に各部局で所管するスポーツ関連の施策、事業を網羅して連携して推進していく予定です。

本日公布させていただきました、資料3点目に本年5月に実施した市役所の各部署でどのような事業が行われているかアンケート調査した集計でございます。

今後は、スポーツ推進審議会委員の皆様のご意見やご指摘など様々なところでお伺いする機会も多くあると思います。また、何かお気づきの点、お問い合わせ等ございましたら事務局までご連絡いただければ幸いです。

私からの説明は以上となります。よろしくご審議のほどお願い致します

□委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

□委員

各部のスポーツに関連した施策をまとめた資料についてですが、こども育成部のスポーツ施策が「該当なし」となっていますが、本当ですか。

□事務局（主査）

部局からは該当なしという回答を伺っておりますが、当アンケートを実施する際に、「どのようなものがスポーツであって、どういったものを回答する」、などの決まりを定めず、「スポーツに関連すると思われるもの」を載せてもらうよう依頼しました。そのため、中にはいくつかの施策が漏れていることも考えられます。大変申し訳ありませんが、そのような形で調査を行わせていただきました。

□委員

8月にソフトボール大会があり、こども育成部も事務局として入っていたような気がします。またレクリエーターの講習会等、スポーツレクリエーションを扱う事業が、昔はあったと思います。

□事務局（主査）

委員のご指摘の部分を再度、部局に確認してみたいと思います。ご意見ありがとうございました。

□委員長

ラジオ体操に参加していますが、子どもの体操の実技が下手になっているように感じます。夏休みに朝のラジオ体操に参加すると、子どもたちのラジオ体操は、とても見ていられないです。ラジオ体操に関する講習は多く存在しますが、学校側でも実施したり、体操の教員が積極的に指導するなどの考えはいかがでしょうか。私は体操出身ですので、非常に気になってしまいます。今はストレッチなど体操が数多くありますが、ラジオ体操は昔から存在し、身体の基本となるので、しっかり実施したほうがいいです。しかし最近では疎かになっているように感じます。

□委員

政策推進部で行われている、オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致についてですが、葉山町ではセーリングの事前合宿が行われるというニュースをお聞きしました。横須賀市ではどのような動きをするのか教えていただきたいです。

□事務局（スポーツ振興課長）

横須賀市では、NOCやJOC等に訪問して情報を集めています。今後は、7月に事前誘致の候補地のガイドブックを県が作成しますので、それに向けて申請を行うといった流れになっております。

□委員

多くの小・中学校を回ることが多いのですが、運動会などの行事の際に、ラジオ体操を実施してはいるものの、委員長が言うように、見るに堪えないです。教員の方に、なぜ指導しないかを問うたところ、教員本人もラジオ体操を教わっておらず、子どもたちに指導することができないというのが実情だそうです。現在、横須賀市では、生涯現役社会として、高齢者中心に波及していますが、小学校の先生が、ラジオ体操に対して積極的に動かなければ、子どもたち中心に展開していかないのではないかと感じます。県の保健体育課でも、児童の体力向上と、生活習慣の改善のために、ラジオ体操を普及しようと見直しを行っておりますので、市でも並行して動いていただければと思います。

□委員

同様に、ラジオ体操の意見ですが、小学校ではラジオ体操でなく、先生が別の音楽に変えて、独自の体操を行っているところもあります。そのため、ラジオ体操を知らない子も多いです。

先日は体力テストのお手伝いに行きましたが、立ち幅跳びやボール投げといった種目に関して、先生が児童へ指導していません。我々が足の使い方、手の使い方などを教えてきたのですが、体操や種目の一つ一つにしても、体の動きを理解していない児童が多くいると思いますので、学校で教えてもらいたいと思います。

□委員長

加えて、ラジオ体操は、指導者の育成も足りていないように感じます。健康部でも動いていますが、各地域に指導者を配置するなどの動きがあれば、もっと発展していくはずですが、指導する者が、動きを理解していなければ、意味がありません。各地区のラジオ体操の代表の方が勉強すれば、さらに地域に浸透していけると感じます。せっかくやるのなら、より効果のあるやり方をして、横須賀全体で育って行ってもらいたいです。

□事務局（保健体育課長）

ラジオ体操について、去年は公郷小学校全校で取り組み、今年度では馬堀小学校で実施することになりました。健康づくり課からも、是非広めてほしいとのことなので、学校体育としても、研修等を含めて取り入れていければと思っております。

（２） その他

□委員長

それでは、今年度初の審議会ですので、各委員の皆様から進捗状況など、自由に意見を述べていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

□委員

小学生のラジオ体操については耳が痛い部分があり、申し訳ないです。本市では学力向上に関して力を入れており、どうしてもスポーツとの両輪が難しいです。体育の中で

も、ラジオ体操をどうにかしていかないとと思いながらも、児童は、昨年行ったような、EXILEの横須賀出身の方のダンスなど、派手な動きに目がとられがちです。昔からあるラジオ体操ではなかなか興味が引けない、加えて、若い教師が増えてきており、教師本人が動きを理解していないので、指導をしていかなければいけないと思っております。

小学校では、5月に相撲大会が横須賀相撲連盟、保健体育課を中心として行われ、5、6年生の男女が参加しました。メインアリーナの改修があるため、来年度の動きは未定です。

秋には陸上記録大会、ダンス発表会、児童ボール大会が行われます。児童ボール大会は、市内の6年生の全児童が出演し、バスケットとサッカーを行うので、お時間がありましたら足を運んでいただき、ご指導いただければと思います。

□委員

トップアスリートアカデミーについてですが、現在行われている4種目は年間でいくら予算が出ているのでしょうか。また、支出した予算はどのような費用に使われているのでしょうか。

□事務局（スポーツ振興課長）

4団体に対して、各40万円ずつ支給しております。

□委員長

課長が言われたように、各40万円予算がついており、指導者への報酬等に使用しております。

□委員

実際にアカデミーを運営しようとする、子どもたちの学校が終わった夕方から、夜まで指導者を配置しなければなりません。そうすると、年間40万円で賄うことは実質不可能です。横須賀に限ったことではありませんが、日本は指導者にお金を出さない国であり、難しいとは思いますが、指導者に対して、労働に見合った対価の予算組みをするなどの改善はされたりするのでしょうか。そうでないと事業が膨らみませんし、指導者が配置できるか否かで、団体に格差が生じてしまうと思います。

□事務局（スポーツ振興課長）

ご指摘の内容はもっともであると思います。委員がおっしゃったように、日本では、指導者に対して見合った報酬を支給する文化が根付いていないという問題があります。改善できればと思いますが、市全体の決まった中の額でありますので、そこまでの予算が付きにくいのが現状です。

□事務局（施設係長）

補足で、選手強化に関する、立ち上げの経緯をご説明します。特定競技ですが、「横須賀市ならでは」というところで始めました。また、小学校6年生から中学校1年生にかけてトップアスリートアカデミーを開講したところですが、「特定競技強化=アカデミー」

ではありません。4種目それぞれの競技の振興という部分で、その一助に各40万円を補助金として支給しております。それ以前も各団体では、ジュニアの育成に取り組んでいましたので、新しくアカデミーを立ち上げて、その全てを40万円で運営しているわけではありません。今後につきましては、各種目団体とご相談し、金額が変わってくるかもしれません。以上の点が、立ち上げの経緯となっております。

□委員長職務代理

スポーツ基本計画の46ページに、「日本体育協会公認スポーツ指導者登録者数」が書いてあります。スポーツリーダーを含まない数として、2016年度で172,633人とあります。日体協の指導者の数はたくさんいますが、横須賀市スポーツ指導者協議会は会員128名です。

指導者協議会の発展や横須賀市のスポーツの連携に向け、現在、指導者バンクを作り、学校で指導者がほしい場合に紹介をしています。大津中学校では、会員が卓球を教えています。まだまだ組織的に動いているわけではなく、個人的な付き合いで活動しているのが現状です。

また、指導者はたくさん資格を取っていますが、教える場がないという問題があります。そのため、我々競技団体としても、指導する場を多く提供するべく連携していきたいです。現在、会員の年齢層は高く、中学校の部活で指導するのであれば、実技のみならず、生徒指導も大事であるため、その点を考慮すると、指導の経験が豊富な会員であっても、それだけではなかなか推薦しづらいという実情もあります。

今後については、資格を取った人は、是非会員として登録してもらいたいと思っております。行政や学校とも連携しながら体制を作っていきたいです。

□委員

レクリエーション協会は、今年度も10種目団体を中心に組織を形成しております。春と秋のレクリエーションスポーツフェスタでは、市と協力して実施しております。また、それぞれの種目団体が、年間を通して大会を行っておりますので、今後ご協力をいただきながら活動してまいりたいと思います。

また、2021年に神奈川県で実施する、ねんりんピックについてのアンケート調査も来ております。横須賀でできるものがあれば、是非手を挙げていきたいと思っております。県との調整が残っておりますが、対応していきたいです。

□委員

少年団の今年の登録数は28団体です。7月いっぱいまで受付を行っておりますので、もう少し多くの登録があるのではないかと思います。

活動するうえでの悩みとしては、学校の施設で練習をしている関係上、屋外であれば、砂ボコリが立ってしまったり、屋内では、近隣住民から、練習音に関する要望があるなど、競技を行う上での障壁が多くあります。私は剣道をやっていますが、音がどうしても出てしまいます。指導する際に笛を使っていますが、うるさいとの意見がありましたので、笛にガムテープを巻いて、音を小さくする工夫をしました。

また、体育館からの明かりが外に漏れているという意見もありました。そうすると、夏の暑い時期でも窓を開けることができません。全部閉めきって活動しています。扇風機を買って対応していますが、暑い空気を回しているだけです。選手は非常にやる気もあり、強いです。剣道という種目は本来、笛ではなく、太鼓を叩く文化であるため、太鼓も購入しましたが、音の問題上、現在は更衣室で眠っています。横須賀では、その他の学校でも、せっかくいい道場があるのに、練習音がうるさいという意見があり、空き教室で練習をしているところもあります。

そのような環境でも、子どもたちは横須賀で頑張っていて、県体連や関東を目指しているので、大人が見守ってあげる環境を作ればと思います。同じような問題で、小田原では、廃部にした道場もあります。役職柄、様々なところから、そのような話をお聞きしますので、悩んでいるところがございます。青少年の育成ということでスポーツ少年団が発足したわけですから、子どもたちがのびのびとスポーツできる環境を作ってあげたいです。

□委員

中体連は、今年の夏に県総体が横須賀ブロック（横須賀・三浦・逗子・葉山）で行われます。8年に1回当番制で回ってきますが、6種目が横須賀ブロックで開催できません。新体操については、体育館が今の規定に合わないため、秦野の施設をお借りして実施します。また、陸上競技場では、公認が取れていない、水泳は50mプールがないなど、横須賀ブロック以外での実施となります。横須賀を拠点とする大会であるはずなのに、この現状は恥ずかしいように感じます。

大きな話になりますが、横須賀市のスポーツを推進するのであれば、各競技団体が、横須賀で大会を受けるようにならないと、人も集まらないし、競技力も上がっていきません。莫大なお金がかかってしまうかもしれませんが、今のままだと、横須賀で育った選手は市外に出ていくしかありません。横須賀で育った選手は、これからも地元で頑張ってもらいたいですが、施設の土台がありません。色々なやり方はあると思いますが、施設も中途半端なものではなく、しっかりしたものを作る。運営に関しては、民間等に委託し、何%かを市の歳入とするなどの方法もあると思うので、将来的には考えてもらいたいです。各競技団体は非常に頑張っているのですが、地元で選手が頑張れるという体制を作ってあげたいと思います。

□委員

トライアスロンの団体に所属しております。公益社団法人日本トライアスロン連合はオリンピック競技の団体として位置づけられておりまして、世界で唯一、パラリンピック競技と統一した団体です。しかしながら学校教育の中で行われているわけではありませぬので、なかなか皆さんには認知しにくいです。ただ、日本トライアスロンはオリンピックの強化指定種目にもなっており、急発展しつつある、真新しい競技です。

私は元々、横浜市民でした。トライアスロンは海に関わるスポーツであるので、毎年、海での死亡事故が残念ながら発生しております。スポーツで事故や怪我は付き物と言えますが、トライアスロンに関しては、ニュースになりやすいです。怪我の頻度や確率からすると、特別多いわけではありませぬが、目立ってしまいます。死亡事故を減らすため、

海の安全講習会を観音崎で5年前から実施しております。それを契機に一昨年、住まいを横浜から横須賀に移し、走水を中心として、年間、海の安全講習会を75回、50回と実施してきております。

次のステップとしては、オリンピックもあるので、横須賀市の選手を育成していきたいという思いがあります。市内でも、仮称ですが、「横須賀トライアスロンアカデミー」を立ち上げるのが計画の一つで、もう一つは、神奈川県トライアスロン連合の中に、市の協会として加盟しているのが、横浜市と川崎市であるので、横須賀市も加盟できるように設立したいという思いがあり、皆様からご指導とご協力をお願いしたいです。個人としては日体協のトライアスロン指導をさせていただいております。

横須賀市のスポーツ推進審議会委員という形で去年、そして今年とスタートしていますが、直接体協に加盟している団体でもありませんし、みなさんとの接点もこの会議でしかないので、市民公募の立場として、なかなか参加できているような達成感がなく、自分が役に立っているのかわかりません。団体に加盟していない身からすると、会議の内容がわかりづらい部分が多くあります。私としては、横須賀市でトライアスロンを普及したいという明確な目的があります。この会議で、自身の目的の達成に向けて動き出せるように、意見を反映していただけるような仕組みに変えられないのかと思います。

□委員

何人か委員の話を聞いていると、体協の会議に出ているような感覚になります。お互いの団体の立場として発言するのであれば、体育協会の会議の中です。

話は変わりますが、先ほど委員がおっしゃいましたが、私も施設の問題だと思っています。例えば、バスケットのメイン会場になるような体育館を横須賀中央のそばに建てるとか、ポートマーケットを壊して陸上競技場を作るとか、駅からアクセスが良い位置で多目的競技場を作って、活用していかないといけません。お金をどこへ効果的に投下していくのかを考えていかないと、これからのスポーツ行政を見誤ってしまうのではないかと思います。

先ほど、ねんりんピックの話がありましたが、神奈川県では、2021年開催ということで、既に県の担当者も動いていますし、横須賀でも早急に何ができるのかを考える必要があります。スポーツ推進委員は、ねんりんピックと同じ係である、生涯スポーツ班で活動しています。話はどんどん入ってきますが、横須賀は今のところノータッチなので対応してもらいたいと思っています。実施するとなったら、市内の小・中学校の施設を借りて、練習もするし、大会になったら、全市を挙げてお迎えする必要があると思います。いずれにしても、今考えないと間に合わないと思うので、どうぞよろしく申し上げます。

□委員長

皆様ありがとうございました。委員の皆様が言われたことは横須賀のスポーツの目標でもありますし、やらないわけにはいけないので、進めていければと思います。他にご発言はございますか。

⇒なし

それでは、平成 29 年度第 1 回スポーツ推進審議会を終了いたします。ありがとうございました。